

ACK Kids' Programs

Powered by  洛和会
ヘルスケアシステム

Mirru



みる
つくる
アートフェア
で



昨年の様子

Tsukuru



ACK キッズプログラム 参加者募集

国際的なアートフェアである Art Collaboration Kyoto (ACK) の会場で参加型ワークショップを開催します。会場内に設置された作品をガイドツアーで巡る「みる」と、実際に手を動かしてアーティストとともに作品を作る「つくる」がセットになった内容です。プログラムの参加は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。



Courtesy of ACK, 2022, photo by Ai Nakagawa

10

28 29 30
土 日 月

参加
無料

無料
託児あり

参加申し込み、
プログラムの詳細は



ACKキッズプログラム開催日：2023年10月28日(土)・29日(日)・30日(月)
時間：28・29日／13:30～16:00 (受付13:00～) 30日／15:00～17:00 (受付14:30～)
参加費：無料 (ただし、同伴者や保護者のACK入場料は別途必要)
各回定員：各回15名 場所：国立京都国際会館 ニューホール キッズプログラムスペース
スペシャルパートナー：洛和会ヘルスケアシステム 問合せ：kids@a-c-k.jp

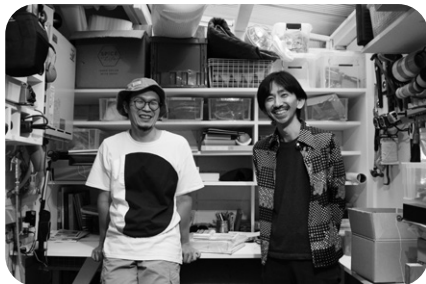
Tsukuru

ワークショップ

10/28(土)

副産物産店

副産物産店で作品(商品)をつくろう



副産物産店は、山田毅(只本屋)と矢津吉隆(kumagusuku)が主に京都で活動するものの価値、可能性について考えるプロジェクトです。作品の制作過程で副次的に生まれてくる“副産物”は、アトリエの片隅に置かれ、いずれは捨てられる運命にあったモノたちです。それぞれの作家の感性を帯びた作品未満のモノたちにスポットを当てることで、ものの価値や可能性について改めて考える機会をつくります。主な展覧会はやんばるアートフェスティバル2019-2020(沖縄)、かめおか霧の芸術祭(京都)など。

対象: 8~13歳の子ども(目安として小学校3年生~6年生)

10/29(日)

谷澤紗和子

「ZERO」~おかねのことをやってみる~



Photo: Atsuko Chiba

西洋男性中心主義的な美術史において、周縁化されてきた「切り紙」という媒体の持つ批評的な可能性や、生と死、愛、痛みといった生(性)の根源的な領域への想像や妄想をテーマに制作している美術作家。主な展覧会に「VOCA展2022現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」(上野の森美術館/東京)、「東アジア文化都市 2017京都—アジア回廊 現代美術展」(二条城/京都)などがあります。

対象: 8~13歳の子ども(目安として小学校3年生~6年生)

10/30(月)

金氏徹平

タイトル未定



Photo: Kotori Kawashima

1978年生まれ、京都在住。美術家・彫刻家。京都市立芸術大学美術学部彫刻科准教授。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。身のまわりの事物を素材に部分を切り抜き繋ぎ合わせることで、既存の文脈を読み替えるコラージュ的手法を用いて作品を制作。国内外の美術館で個展の開催や、国内外の企画展・国際展で作品を発表するなど多岐に渡ります。

対象: どなたでも(7歳以下のお子様は親子で参加可能)
※託児サービス(無料・事前予約制)もごさいますので育児中の方も安心してご参加いただけます

Miru

ガイドツアー(3日間共通)

3日間共通

ART COMMUNICATION RESEARCH CENTER
京都芸術大学
アート・コミュニケーション研究センター



人が人との間で生きていくために最も重要な要素であるコミュニケーションのあり方・育て方について美術教育の現場から問い直すことを趣旨とし、2009年4月に設立。ニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞教育プログラム「VTC(Visual Thinking Curriculum)」を源流に、京都芸術大学が2004年度から展開する対話型鑑賞教育プログラム「ACOP/エイコップ(Art Communication Project)」を応用し、全国の美術館や他大学との共同研究、芸術祭・アートプロジェクトと連携した取り組みや、医療・福祉など対人援助者やビジネスパーソンに向けた研修も展開しており、年々その活動の領域を広げている。

A C K

Art Collaboration Kyoto (ACK) は、「現代アートとコラボレーション」をテーマに京都で開催するアートフェアです。アートフェアとは、アート作品を展示し販売するイベントのことで、ACKは現代アートに特化したアートフェアとしては日本最大級で、日本と海外のギャラリー、行政と民間、美術とその他の領域などがコラボレーションする点に特徴があります。メイン会場の国立京都国際会館で、「ギャラリーコラボレーション」と「キョウトミーティング」の2つのセクションを設け、作品の展示や販売を行います。

開催日: 2023年10月28日(土)~30日(月)

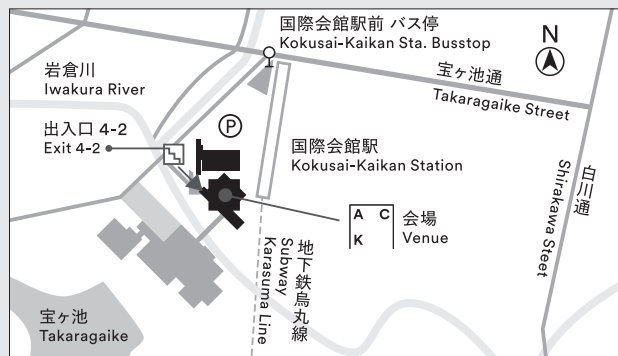
会場: 国立京都国際会館

主催: Art Collaboration Kyoto 実行委員会 / 構成団体: 京都府、一般社団法人日本現代美術商協会、一般社団法人日本現代美術振興協会、一般社団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、京都商工会議所、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

チケット料金: (通常) 一般 3,000円、大高生 1,500円

(早割) 一般 2,500円、大高生 1,000円 ※10/13まで

※託児サービスについて、予約方法など詳しくは、ACK公式サイトをご覧ください。



会場アクセス
○京都市営地下鉄烏丸線
「国際会館駅」下車、
出入口4-2より徒歩約5分
○京都市バス、京都バス
「国際会館駅前」下車、徒歩約5分
○京都駅よりタクシーで約3~40分

ACK実行委員会 事務局
604-0862 京都市中京区烏丸通
夷川上ル少将井町229-2
第7長谷ビル2階
075 708 8591 info@a-c-k.jp
https://a-c-k.jp